



業務改革プロジェクト Google Workspace導入のご提案

2025.10.02

- 1 現状の業務課題
- 2 解決策としてのGoogle Workspace
- 3 導入による具体的なメリット
- 4 導入計画と費用
- 5 質疑応答

01 現状の業務課題

サイロ化した情報と非効率な共同作業

現在の業務プロセスには、生産性向上を妨げる3つの大きな課題が存在します

情報共有の属人化

情報は個人のPCやメール内に散在し、必要な時に見つからない。担当者不在時の**業務停滞リスク**も深刻

非効率な共同作業

ファイルのバージョン管理が煩雑化し、**手戻りや確認作業**に多くの時間を浪費。複数人での同時編集も困難

セキュリティリスク

個人用ツール利用によるシャドーITが横行し、**情報漏洩のリスク**が増大。統一された管理ポリシーが不在

02

解決策としてのGoogle Workspace

Google Workspaceとは？

必要なツールがすべて揃った、クラウドネイティブな統合型ワークスペースです

コミュニケーションツール: Gmail、Meet、Chatなど、円滑な意思疎通を促進

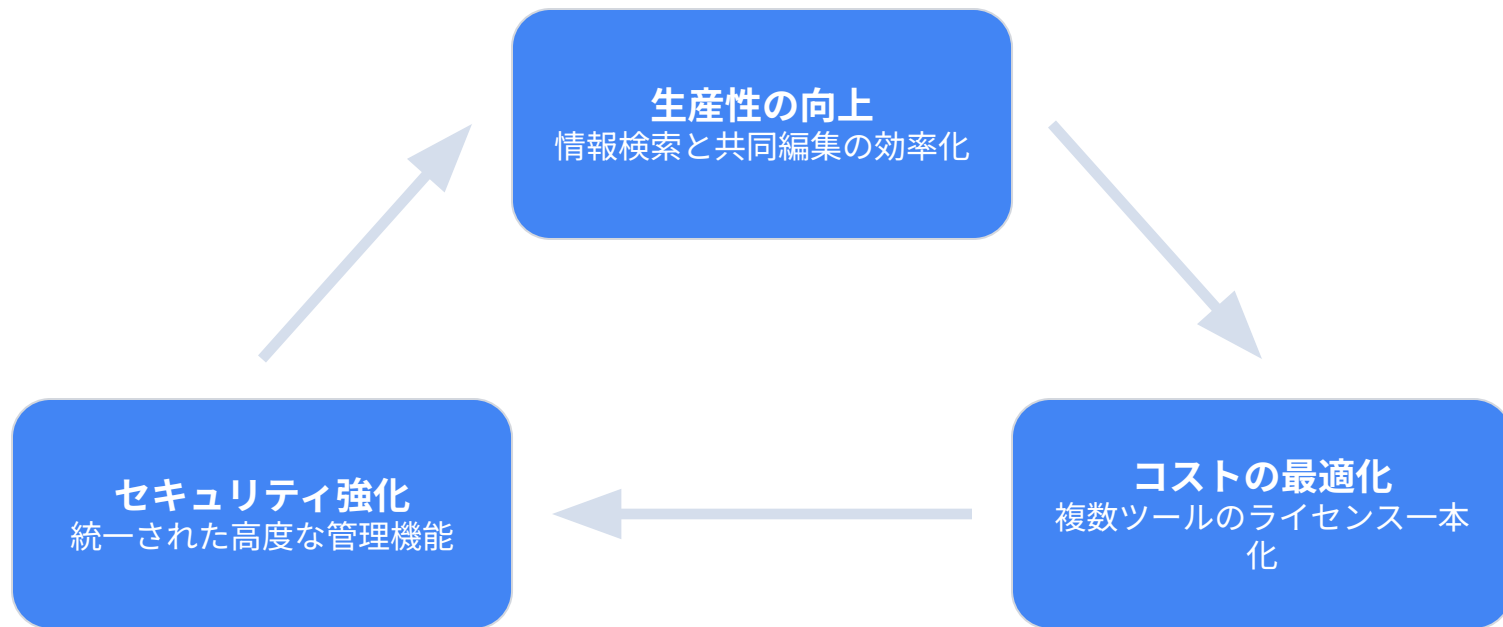
コラボレーションツール: ドキュメント、スプレッドシート、スライドでリアルタイム共同編集を実現

クラウドストレージ: Googleドライブですべての情報を一元管理し、場所を選ばずにアクセス

高度なセキュリティ: 不正アクセス防止、情報漏洩対策など、エンタープライズレベルのセキュリティを標準搭載

Google Workspaceがもたらす3つの価値

「生産性向上」「コスト最適化」「セキュリティ強化」を同時に実現します



03 導入による具体的なメリット

事例に見る生産性の劇的な向上

資料作成や情報検索にかかる時間を大幅に削減し、コア業務への集中を促進します

従来

平均3時間

会議資料の共同作成

平均15分

関連情報の検索時間

PC必須

出張先でのファイル確認

導入後

平均1.5時間

平均2分

スマホで完結

複数ツールの統合によるコスト削減効果

現在利用している各種ツールのライセンス費用をGoogle Workspaceに一本化できます

Web会議システム



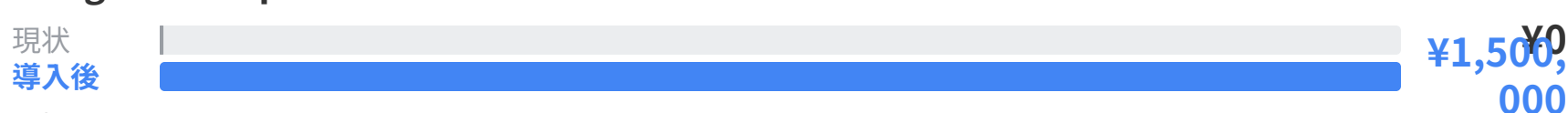
ビジネスチャット



ファイルサーバー



Google Workspace



堅牢な多層セキュリティ

ゼロトラストモデルに基づいた高度なセキュリティ機能で、企業の情報を守ります

データ損失防止
(DLP)

機密情報が外部に送信されるのを自動で検知・ブロック

高度なアクセス管理

デバイスの種類や場所に応じた柔軟なアクセス制御

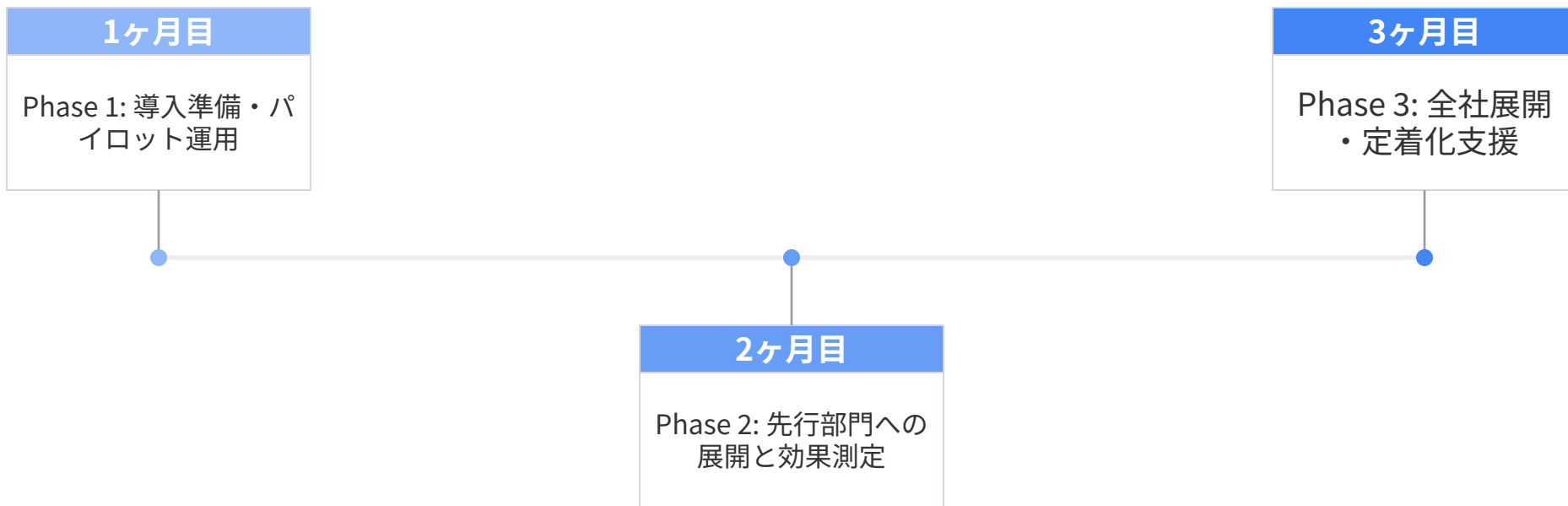
基本セキュリティ

2段階認証、迷惑メール・フィッシング対策、暗号化

04 導入計画と費用

導入に向けたロードマップ（案）

3ヶ月間の移行期間を経て、全社展開を目指す段階的な導入計画をご提案します



料金プランのご提案

セキュリティと管理機能を両立した「Business Standard」プランを推奨します

プラン	月額料金（/ユーザー）	主な機能	ストレージ
Business Starter	¥680	標準的なオフィススイート	30GB
Business Standard	¥1,360	Starterの全機能 + 会議録画、共有ドライブ	2TB
Business Plus	¥2,040	Standardの全機能 + 電子情報開示、高度な管理機能	5TB

よくあるご質問

Q. 既存のメールやファイルはどうなりますか？

A. 専用の移行ツールを用いて、現在のデータを安全にGoogle Workspaceへ移行することが可能です

Q. 導入後のサポート体制はありますか？

A. 情報システム部内に専門窓口を設置するほか、Googleの公式サポートや導入支援パートナーによるサポートも利用できます

Q. 操作方法を覚えるのが大変ではないですか？

A. 直感的なインターフェースに加え、導入後の全社向け説明会やマニュアル提供など、定着化に向けた支援を計画しています

Gemini